

看護学生による小学生への特別授業「脱水予防と夏場のマスクの正しいつけ方」の紹介

今年度より開講されている地域健康サポーター実習の1事業として、看護学科2年生4名が、三木町立平井小学校1年生110名への特別授業を実施しました。「脱水予防と夏場のマスクの正しいつけ方」をテーマとし、脱水の症状やマスク着用時の注意点などをお伝えしました。児童さんからは「楽しかった。わかりやすかった。また来て欲しい。」というお声をたくさん頂け、参加学生も達成感と次回へのモチベーションへとつなげていました。

(地域健康サポーター実習チームベネッセ担当：諏訪亜季子、松本裕子)



「一日のおしっこの量ってみんなどのくらいだと思う？」とクイズ形式で質問しました。



小学校一年生が興味関心をもって聴ける内容にまとめ、症状をイメージできる教材を使って説明しました。